

「罪と罰」



—成人向け—

舞伎加目



「…まあたとえば、全人類的な立法者なり建設者なりは、太古の英雄を初めとして、引き続きリカルガス、ソロン、マホメット、ナポレオンなどといったような人たちは、皆一人残らず、新しい法律を布いては、その行為によって、従来世人から神聖視されてきた父祖伝来の古い法令を破棄した、その一事だけでも立派な犯罪人です。したがってむろん彼らは、おのれを救い得るものただ血あるのみという場合になると（たといその血が時として、ぜんぜん無辜なものであろうと、古い法令のために勇ましく流されたものであろうと）、流血の惨にすらちゅうちょしなかったのです。これら人間の恩恵者、建設者の大部分が、とりわけ恐ろしい流血者であったということは、刮目に価いするくらいじゃありませんか。一口に言えば、人は誰でも、単に偉人のみならずわずかでも凡俗の軌道を脱した人は、ちょっと何か目新しいことを言うだけの才能にすぎなくとも、本来の天性によって必ず犯罪人たらざるを得ないのです——もちろん、程度に多少の相違はありますがね。」

あつ…

ゼロ…

ルルーシユ
さ…まあ…

弱肉強食は
世の理…か…

勝ち残った者が
支配する権利を持つ

負けた者は
能力も、技術も、
気概も、理念も

劣っていたと、
そういう事
なのだろう…

確かにな



この女を見る

あんなん!

あひっ!

すいっ...

あはあ!

もつと...
もつと気持ち...良く
して...くださ...あっ!

いっ!

あんなんっ!



あっ

あっ

騎士に取り立ててもらおうと必死だったこの女も:

こうなつてはただの動物だというまたとない証左だな

あっ

だから――

かよう
斯様に滑稽な
姿で拘束し
辱めを与えれば、

その女同様私が
屈するとしても
思ってたか？

弱者はその存在自体が
罪であるとする
ブリタニアの現状を
端的に現したまでだ

短慮で浅薄な比喻であり
このコーネリアの尊厳、
いささかも傷つける事
叶わぬぞ

なのだと
したら…

銀のスプーンを啜えて
生まれて来た、

人の頭をその足で
踏みつける事を
当然として生きて来た

そんな貴女ならば
きっとそう言うだろうと
思っていたよ

虫けら如き輩に
この裸体を晒そうと
所詮人に見られた
訳では無い

何の羞恥を
覚えるものでも
無いわ

ひああっ！

あんんっ
も…っと…

もっ
と
いっぱい…

こんなモノで
ブリタニアの何某かを
証明しようと
思ってるなら…

ルルーシュ！
愚昧に過ぎるぞ！

ならば問う！
ブリタニアの
強者としての座は
何によって担保されている！？
武力か？経済力か？
人的資源か？

それらを上回る
存在が現れた時
ブリタニアは従容として
一敗地にまみれる
覚悟があるのか！？

絶対に
負けぬからこそ
王なのだよ

ど.の.様.な.時.でも.な.



では
コーネリア姉上…
俺はこれから
貴女にそれを
証明してみせよう

お願いです…

ど…ど…ど…
あの…

声が
小さいな

どうかイかせて
下さい…

権勢欲も野心も
下半身の熱に
墮する…か

そこはあああ
あひいああ…!!

だっ…

んああああ!
あ…そこ!

ひい!



あ…奥にい！

だめ…だめえ…あああああつ！

おおおつ…
おしりっ！

好きだけ
イクがいい

ひはあああああ！！



確実に

コーネリア
お前もこうなる

あのクロヴィス
の様に...な

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...

はあ...



くっくくく...

これは
お笑い種だ!

クロヴィスを
糞した事...
許せぬと思うか?

むしろ
感謝しているのだ、
ルルよ

我々が一体何世代、
兄弟で殺し合いを
してきたと思っている

互いを喰らい合う
蛇の様に同胞の
血を流し合い

最後の一人になる事が
我等王族に課せられた運命
果てしなく血塗られた道

それが
ブリタニアだ

お前も
その末席を汚す身だ
知らぬハズは
あるまい？

ユーフェミアも
……か？

言うな！

だが、貴女は
選んだのだろうか？
それを

それは
お前達がつ

ふふ…
楽しい戯言は
これまでとしよう

そろそろ
効いて来た頃合
じゃないか？



研究所に忍び込んだ時
面白いものを発見させて
もらったよ

権柄づくでも
膝を折らない人間を
変える薬とでも
言うのかな

こ…これは

端的に言って
媚薬の一種
らしいが…

はあ…

はあ…

はあ…

はあ…

そこに
転がってる女に
使わせて貰って
分かる通り効果は
観面てきめんの様だな

まこと
ブリタニアの
面目躍如とでも
言うべきか…

はあ…

まさか…

もちろん

貴女も既に
たっぷりと服用して
いるのだよ



あああ…

あ…

こんな…

オールハイル
ブリタニア…

と言った
ところだな



く…く…く…
こん…な…
こんな事で私を…

薬如きで私を
どうにか…できるとは…
愚劣極まるぞ、
ルル

あははは
はははつ!!!

こんな陳腐な
台詞を吐くのは
俺の美意識に
反するので正直興が
冷めるのだが…

あえて言わせて
もらえば…だ

どうもここは
そんな事を言つては
いない様だよ？
姉様

た…とえ…あつ
わた…しを…どうにか
できて…も

ん…んんっ…
ブリタ…ニアは…
その精神…は…

それを、

俺如きが揺るがせに
出来ないと言う事を
証明していただき
たいのだよ

例えばこう

ひいひいひい！

こんな風に
されるとどうなる？
姉上殿

や…あああっ

あ…やめ…
やめ…ろ
や…め…

ああああ！

一枚一枚
剥がされて行く
みたいじゃないか…
貴女を覆ってる

ひはっ…あっ

高慢さが！

だ…ああ
あっあっ！

不遜さが！

あんんっ

権勢欲が！

いひあああっ！

いああっ！

ひいっ！

んんっ！

あいいっ！

国体の護持に
拘泥するあまり
数多あまたの人々の
夢や想いを…

こうして
来たのだろうか？
貴女は！

ひいっ！

おおおっ！

いひあああ
ああああ！

こうなってみて
初めて理解の地平に
辿り着く事も
あるのじゃないか

やめ…あつ
だ…あつあつ

だめっ！

もう
それ以上は…

だとしたら…

さあ…
堕ちた先に
何を見る？

姉様…

ひっ！

だめっ！

だめえ

あ
ん
ん
ん
ん
っ
!!!

あつ！だめえ！
止まらないのお
おおおおお！

あ…だめ

キニシ

ふふ…
敏感になつて
るんでしょ

だから
だ…めえ!

んああ
あああつ!

イッた
ばっかりな…

ひっ!!

この薬…
実験のデータを見る限り
ここらでやめておいた方が
いいかもしれないね

やめないで
やめないで
お願い!
やめないでえつ!

これ以上やると
どうにかなるよ?

それでもいい!
それでもいいから!



く…
クリトリス…だけ…
じゃなくて…

欲しいの…

何が
欲しいの？

ルルの…
…があ…

ルルの？

ルルのおチンチンが
欲しいのおおお!!

そう…欲しく
なっちゃったんだ
姉様は

早く!

早く
入れなさい!

入れなさい?

嘘っ! 違うの!
お願いっ!!
入れて…下さい

お願い
しますう！

まあだお偉い
お姫様気取りが
抜けて無い
みたいだね

…でもいいよ

いいかい…

はあ…

はあ…

ルルのおチンチン
入れて下さいいい！

入れて
あげようじゃ
ないか

ははは！
入れられただけで
イッたのかい？

ひっ！！

これが「俺」だよ、
姉様

はあ…

あっあっあっ

ああっ！

虐げられ!

踏みつけにされ!

んっ…
あひっ

す…すご…
…あっ!

服従を強いられ!

奪われる!

あんん
…んっ!

それが
どう言う事か
分かるかい?

「俺」によがり
狂ってるんだよ…

姉様は今そんな
状況になって尚、

いいのお!
ルルのおチンチン
いいのおおっ!

あの高潔で凛々しくて
どこまでも高圧的な
ブリタニアの華と
例えられた妃殿下は
どこに消えた？

ひああああ…

だ…だつて…
あんんんっ！

脳の電気信号を
少し変える薬で
ここまでの獣性を
発揮するものなのだね

イキたい？
イカせて欲しい？

イカせてえ！お願い！
イカせて下さい
いいいいいいっ！！

お…おおっ…
ひおおおおお！

「俺」に内臓まで
喰い荒らされて
消えるブリタニアの
象徴として…

だ…ああ…だめ
だめっ！だえ…あつ！

あおおおおお
おおおおおおつ!!!

果てろ！
姉様あ！

イクっ！イクううっ！
イツちやうのおおお
おおおおおお!!

んああああああ
あああああつ！

あひひひひひひ
いいあついいい！

あつ…
ああつ…

あつ

あつ

あつ…





はあ…

こんな
もので…

姉様には少々
落胆させ
られたよ

はあ…

はあ…



あ…

もしくはブリタニアの
科学力を賞賛するべき
なのか…

あ…

はあ…

はあ…

貴女ならば
或いは…と、
思ったのだけどね…

はあ…



舞台に必要な無い
女優だ、貴女は

る…
ルルーシュ…
…わたし…は…

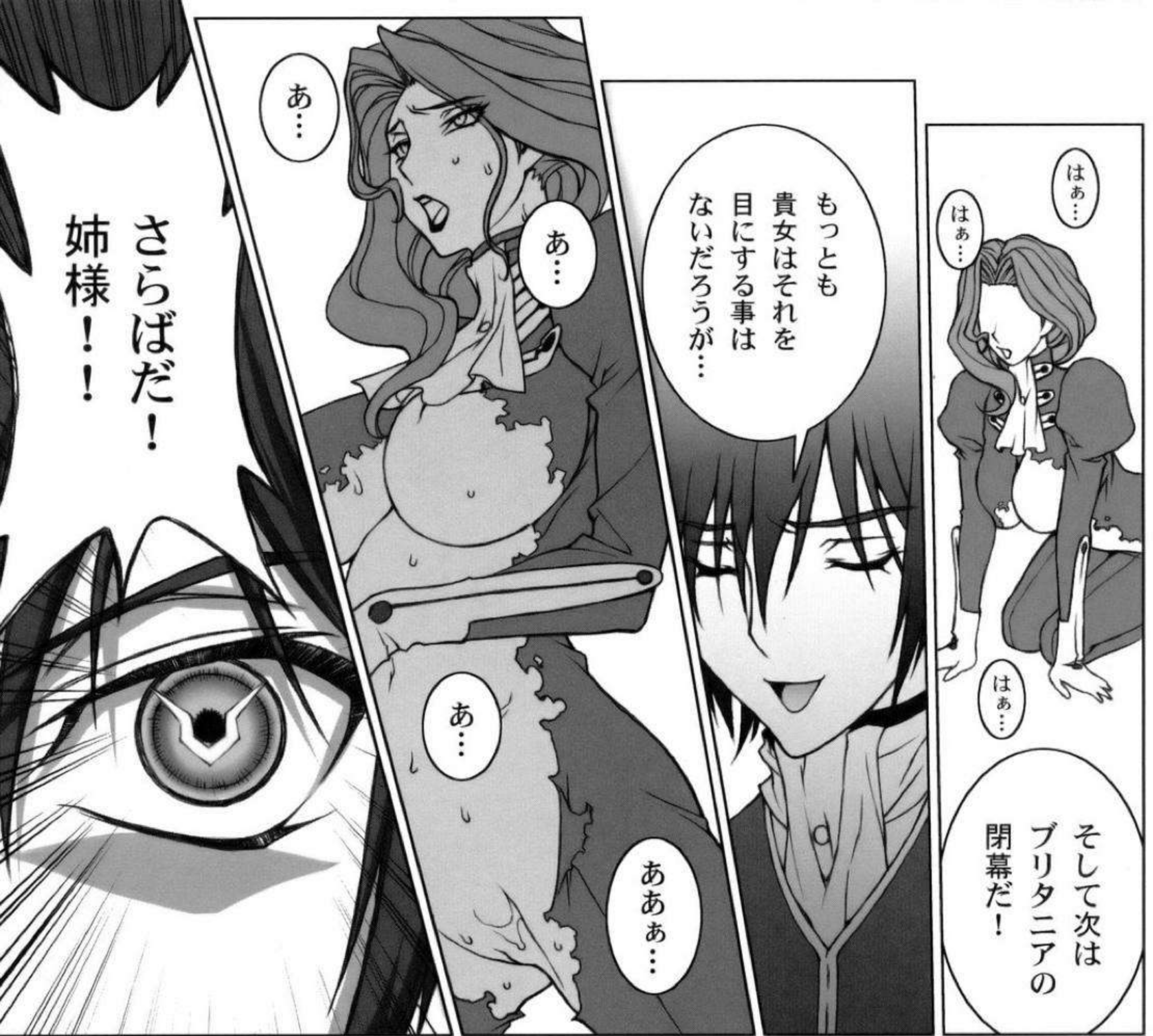
俺が幕を降ろして
差し上げよう…

あ…

あ…

あ…

あ…



あ…

あ…

もつとも
貴女はそれを
目にする事は
ないだろうが…

はあ…
はあ…
はあ…

そして次は
ブリタニアの
閉幕だ！

あ…

あああ…


さらばだ！
姉様！！



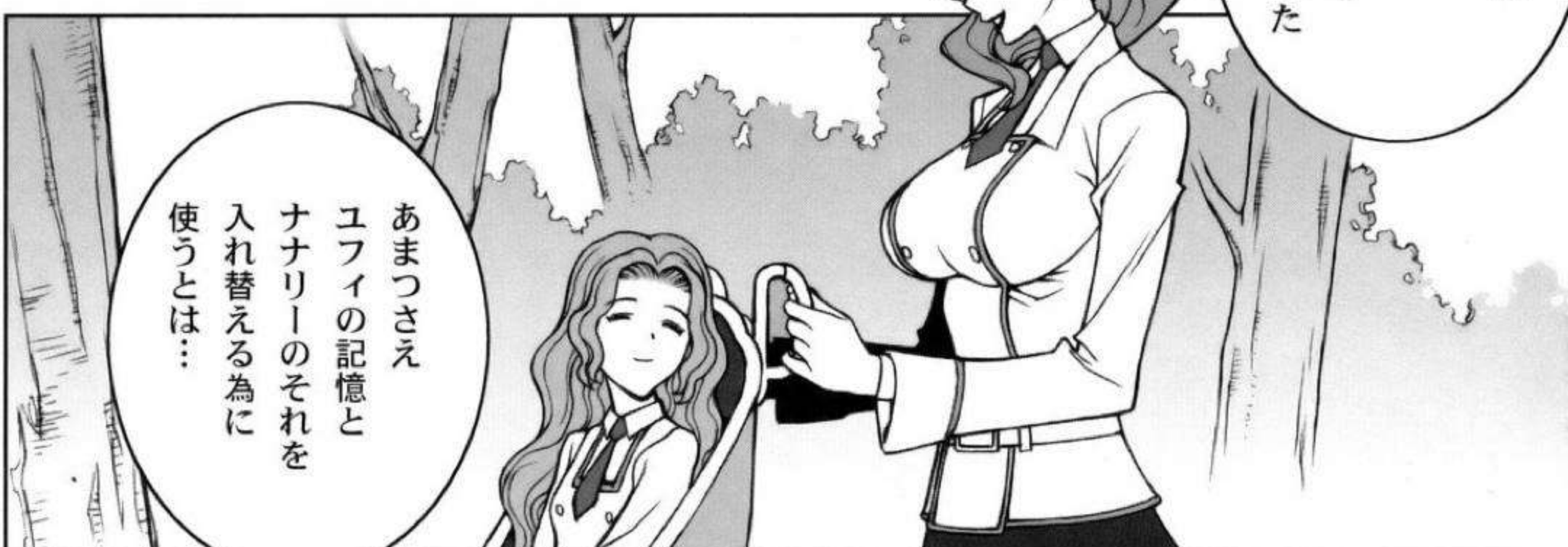
あああ…

あああつ…！！

あ…




朽木の時と言い
今回と言い
なぜ最初から
ギアスを使つて
屈服させなかった



あまつさえ
ユフィの記憶と
ナナリーのそれを
入れ替える為に
使うとは…



実に
お優しい事だ



矛盾する存在だな
貴方という人は…

ルルーシユ、お前は
博愛主義者なのか？
狡猾な楽道家…いや、
良心的な悪魔か？



言ったはずだ…
俺は…

正義の…

味方…だと



フレー！
フレー！
ブリタニア！！

頑張れ！
頑張れ！
ブリタニア！！！！

あとがき

ども。もっちーです。

コードギアス本ですなあ。コーネリア様いいですなあ。
あ、最初に断っておきますけど、これシーズン1の後半
ルルがコーネリア様にギアス使う前って設定です。
ユーフェミアがオモシロ殺人日和を満喫した後。
ネームだけはやってあったんですけどR2が
どうなるか見当がつかずしばらく放っておいたんですね。

つか、

最終回手前でコーネリア様にギアス使っちゃうもんだから
もう今回の話はいきなり無し！ってな按配ですよ。

嘆きましたよ、実際。

描いちゃいましたけど。

一人につきギアス一回とか、どんなルールですか。

まあ、何度でも使えちゃうとそれはそれで

ルルーシュ無敵になっちゃいますけどね。

卵1パック10円の大特価セールお一人様一つ限り。

今回コーネリア様が描けてハッピーでした。

あー、ちなみにもっちー的には

学園に編入して来たコーネリア様が巻き起こす
シチュエーションコメディ的な展開とかが俄然描きたいです。
ギアスで洗脳されちゃってるから全然普通に居ます。

ガッコに。

もちろん生徒っすよ、生徒。先生じゃないです。

言葉遣いとかあのまんまで。

みんな妃殿下とか敬称つけて呼ぶし。

つかみんな敬語だし。お辞儀はは最敬礼だし。

超ダブりの妃殿下。萌え。

次は何やりましょかねー。

もっちー

罪と罰

2008 12 29

発行元
もっちー王国

著者・発責
もっちー

印刷・製本
PICO

発行元の許可無く本誌の一部ないし全部の複製、複写、転載、翻訳はこれを禁じます。
また、未成年者の本誌の購読、閲覧もこれを禁じます。

「罪と罰」

もっちー王国